

単 元 名	リズムダンス	配当時間	3時間
単元の目標	(1) 互いのよさを認め合い、だれとでも気持ちを合わせて楽しく踊ろうとする。 (2) リズムにのって踊るための活動を工夫することができる。 (3) 軽快なロックやサンバなどのリズムの音楽にのって、全身で弾んで踊ったり、友達と自由にかかわり合ったりして楽しく踊ることができる。		
単元を構想する上での留意点	好きな曲や知っている曲を耳にすると、自然と体のどこかでリズムをとったり、見たことのある踊りをまねてみたりする児童は少なくない。リズムにのって気持ちよく踊る快感を無意識のうちに味わおうとしているのである。リズムダンスはこのような欲求を満たしてくれる格好の教材である。 本単元では曲に踊りを振り付けけるという発展までは考えず、曲のリズムにのって感じたまま即興で踊るという児童自身の動きや思いを大切にしている。		
単元展開例			
準 備	癒し系の曲：「聖なる海の歌声」（アディエマス）「レスピラール」（伊集院静）など 軽快な曲：「ラブマシーン」（モーニング娘） 「ナンダカンダ」（藤井隆） 「クレイジービートゴーオン」（ダパン）「千年万年」（りんけんバンド） 「ヒューマンラッシュ」（THE BOOM）「ヒアアイアム」（リッキーマーティン） などアニメの曲やヒット曲の中から児童の好む踊りやすい曲を選ぶ カセットCDプレーヤー、感想カード など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 リズムダンスの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 いろいろなリズムの音楽に合わせて思いっきり踊ろう ○ <u>リズムにのって踊って楽しむ</u> 。 ・みんなで車座になって、教師のまねをしてリズムにのる。（手拍子→隣の友達の手や膝などにタッチ） ・スキップや駆け足などで移動しながら、8拍目にタイミングを合わせて近くの人とタッチをする。（両手ハイタッチ→肩と肩→お尻とお尻） ・教師の動きをまねて踊る。 ・リーダーの動きをまねて踊る。 ・2人組やグループになってリーダーを交代して踊る。 2～3 リズムダンスをする。 ○ <u>2人1組でストレッチをする</u> 。 ・背中全体をパタパタたたいたり、指で押したりする。 ・寝ている状態で両足（両手）をゆっくり引っ張る。 ・肩関節や股関節をゆっくり伸ばす。 など ○いろいろな曲のリズムにのって、踊って楽しむ。（めあて1） ・手拍子や足拍子を打つ。 ・後打ちのアクセントをとる。 （1を聞いて2で手拍子やひざ曲げ） ・1人で踊る。		・振り付けを決めずに自由に踊ることを知らせる。 ・児童にとって親しみのあるアニメの主題歌やヒット中の歌などから軽快でのりのよい曲を選ぶ。（キャラクターや歌詞のイメージが強すぎると動きが固定されるので、選曲に注意する。） ・友達同士体を触れ合わせ、心と体をほぐす。 ・癒し系のゆったりした曲をBGMにする とよい。 ・「強かったら言ってね。」「できるだけ力を抜いてね。」などの言葉かけをさせながら、互いの体の状態に気付き合うように、行わせる。 ・ロック、サンバ、ヒップホップ、沖縄風のリズム、レゲエなど曲調の違う曲を3～4曲メドレーで流し、それぞれのリズムの特徴をつかんで自由に踊らせる。 ・どうやって音楽にのったらよいかかわからない児童へは、教師や友達のまねをして	

・そばにいる友達と2人組を作って踊る。 ・いっしょに踊ったことのない友達と踊る。 ○ 1つの曲を繰り返しながら「のり」を楽しむ。 (めあて2) ・曲の雰囲気に入り、自分なりの動きで踊る。 ・友達と踊りを工夫しながら踊る。 ○ 反省し、まとめをする。 ・感想カードに感想を書く。 ・よい動きをしていた友達を発表する。 ○ 第3時は単元のまとめもする。	動くよう助言する。 ・めあて1で踊った曲の中からみんなで1曲選び、のりを楽しむようにする。 ・毎時間、曲調の違う曲を1曲選んで行う。曲のリズムを感じて踊れるよう同じ曲を何度も繰り返す。 ・空間を思い切りかき回す感じで動かせる。 ・おへそを中心に動かすようにさせると弾むような感じが出る。 ・近くの友達と手をつないで回転したり、お尻をぶつけたりするなど、お互いの関わり合いを工夫するよう助言する。 【評】だれとでも仲よく踊る活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。 【評】リズムにのって全身で弾んで踊る活動を通して、「技能」を評価する。 ・感想の発表や、自己評価などをさせる。
--	---